



教育とウェルビーイング③ 子どものウェルビーイングをどう測る？

子どもの主観的なウェルビーイングに着目した国の取組みが動きだす

G7富山・金沢教育大臣会合「富山・金沢宣言」には、「子供たちのウェルビーイングを考慮した**科学的根拠を踏まえたアプローチの重要性を認識**する」と記載されています。

国の施策推進パッケージでも、「**児童生徒の主観的ウェルビーイングに係る実態を把握する**」とあり、また、新たな教育振興基本計画にも、（教育を通じてウェルビーイングを向上し）「その結果として特に子供たちの**主観的な認識が変化したか**について**エビデンスを収集**していくことが求められる。」とあります。

加えて、経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2023にも、「**政府の各種の基本計画等におけるKPIへのWell-being指標の導入を加速**するとともに、**こどもに着目した指標の在り方について検討する**。」と明記されました。

子どもの主観的ウェルビーイングをどう捉えるのか、世界的にもまだ研究途上のなか、日本の取組みがどう展開していくか注目です。

小6・中3が実施する「**全国学力・学習状況調査**」の「**質問紙調査**」は、児童・生徒の普通の**主観的な意識**を問う内容です。R5には、「**幸せな気持ち**」に関するものや「**友達関係に満足している**」などの質問も加わりました。



他の項目も含めこの調査は、今後の子どものウェルビーイングの議論の基本となりそうですね。他に、子どもの調査はあるのかな？

国際的には、**OECDが15歳**を対象に「**生徒の学習到達度調査（PISA）**」を行い、その生徒質問調査で、**生活満足度（0～10の11段階）**等を聞いています。

生活満足度の結果は、**ユニセフのレポート（子どもの幸福度ランキング等）**でも使われています。レポートで取り上げられている33か国の中で、日本は**ワースト2位**という状況です。（※15～19歳の自殺率と合わせた「**精神的幸福度**」は、**38か国中37位。**）



今後、日本が提唱する「**調和と協調**」の考え方も加われば、もっと多様な観点で議論が深まりそうですね。

ただ、世界的に、年齢層のより低い子どもの**ウェルビーイングに関するデータや知見が少ないのが課題**です。2月に本県で開催された、こどものウェルビーイング国際会議でもそれが話題になりました。

ちなみに本県では、県民意識調査の対象を、18歳以上からR5は**15歳以上**に広げ、傾向を分析していきます。



（参考）教育振興基本計画（[文部科学省](#)）
G7富山・金沢教育大臣会合 富山・金沢宣言、我が国の施策推進パッケージ（[文部科学省](#)）、[経済財政運営と改革の基本方針2023](#)（内閣府）
国立教育政策研究所 教育課程研究センター「**全国学力・学習状況調査**」（[ウェブサイト](#)）
同研究所 国際研究・協力部「**OECD生徒の学習到達度調査（PISA）**」（[ウェブサイト](#)）、[ユニセフ報告書「レポートカード16」](#)（[ユニセフウェブサイト](#)）

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。
当てはまるものを1つずつ選んでください。

〔※それぞれの設問について下記の4段階の選択肢から回答〕

1 当てはまる	2 どちらかと 言えば当てはまる	3 どちらかと言えば 当てはまらない	4 当てはまらない
---------	---------------------	-----------------------	-----------

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う
- ・将来の夢や目標を持っている
- ・人が困っているときは、進んで助けている
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・学校に行くのは楽しいと思う
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい
- ・友達関係に満足している
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを活かして解決方法を決めている
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

（※下記の4段階の選択肢から回答）

1 よくある	2 ときどきある	3 あまりない	4 全くない
--------	----------	---------	--------